



# 扇小だより

考える子 思いやりのある子 強い子

令和6年度 第14号

開校50年目

6月24日 児童数753名

入間市立扇小学校

## 全ての子供たちの可能性を引き出す

学校長 村越 新

令和に入り「令和の日本型学校教育」の構築についての提言が文科省からありました。

本校でもこの趣旨である「全ての子供たちの可能性を引き出す」ための個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた教育実践に取り組んでいます。

教師が子供たちに説明したり、教師と挙手して発言する子供とのやりとりで授業が進んだりするような、一斉指導からの脱却をはかるため、2つの合言葉を授業の核としています。



### 合言葉1「アタック25」 ～学習活動を、最低でも25分間は確保する～

★学習活動の時間とは、次の3つの活動をしている時間

- ① 考えを書く時間（視写は含まない）
- ② 学び合う時間（グループなら4人まで、ペア、自由移動）
- ③ 話し合う時間（机は「向かい合い」）

＊発表者は子供に向かって話す（先生ではない）

＊発言の反応を教師が全体に確認する

＊教師は決してオウム返しをしない

### 合言葉2「さっとGPT」 ～教師の説明指示はさっと終わりにする～

★授業が始まったら、さっとGPTの活動を始めるようにする

G（グループ活動） P（ペアの活動） T（探求活動）



学び合う時間を十分に確保し、学び合う質を高めていくことこそが「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現することだと、本校では考えています。

学習で身についた知識や技能は、未来の社会においては役に立たないかもしれませんが、「自ら学ぶ」「仲間と学び合う」「探求していく」力はどんなに社会が変わっても、大事な力であると信じています。



# 修学旅行

扇小50年目の修学旅行は、雨の中のスタートとなってしまいました。そんな中でも、六年生は十分に楽しみ、学校で学んできたことを生かしてくれたと思います。以下のような、すばらしい場面がありました。

- バスの中。ガイドさんが話を始めると、それまでの盛り上がりが嘘のように、皆が黙って話を聴いていた。
- ホテルでの部屋。どの部屋からも楽しそうな声が聞こえてきたが、具合が悪い子がいる子の部屋は、静かだった。
- ホテルの中。「こんにちは」「ごちそうさま」「ありがとうございました」など気持ちの良いあいさつをみんながしていた。

## 扇小検定

### 動

扇小学校50周年を記念して「扇小検定」を作りました。子供たちが取り組んだ問題の一部を紹介させていただきます。

#### 5 昭和50年（開校1年目）の行事、本当のことはどれか？

- ア 運動会が春と秋にあった
- イ 修学旅行で北海道に行った
- ウ 宿泊学習は夏休みに行った
- エ 入学式を市役所で行った

#### 6 開校1年目のことで、一つだけ嘘がある。それは何か？

- ア 給食が始まったのは5月からだった
- イ 五年生が、遠足で東京見学に行った
- ウ 日曜参観日があった
- エ 星座観測会があった
- オ 体育小屋<sup>ごや</sup>がなかった

## ノート（ワーク）を見てあげてください

子供たちが日々張り切って取り組んでいる学習の成果は、ノートやワークプリントを見ていただくと分かります。LEBERにて「〇〇のノート（ワーク）を見せてください」という連絡があった時には、サイン等していただくと幸いです。子供たちも喜びますし、学習意欲が増すと思います。よろしくお願いします。